



## 西インド諸島（カリブ海）

2007年現在、西インド諸島（カリブ海）全体の成人 HIV 感染率は 1.0%[0.9%–1.2%]と推定される。感染率が最も高いのはドミニカ共和国とハイチで、西インド諸島（カリブ海）全体の HIV 感染者 23 万人[21 万–27 万人]のほぼ 4 分の 3 を占め、そのうちの 1 万 7 千人[1 万 5 千–2 万 3 千人]が 2007 年に新たに HIV に感染した人々である。2007 年のエイズによる死亡者数は推定 1 万 1 千人 [9,800–18,000 人]で、エイズは 25 歳から 44 歳の死亡原因の第 1 位である。

西インド諸島（カリブ海）の HIV 感染経路で最も多いのは性行為であり、セックスワーカーとその客の無防備な性行為が HIV 感染の顕著な要因となっている。女性セックスワーカーの HIV 感染率は、ドミニカ共和国で 3.5%、ジャマイカでは 9%、ガイアナでは 31%である（Gupta et al., 2006; Secretaria de Estado de Salud Publica y Asistencia Social de Republica Dominicana, 2005b; PAHO, 2007; Gebre et al., 2006; Allen et al., 2006）。

安全でない薬物注射も割合としては少ないものの HIV 感染の要因で、バミューダ諸島とプエルトリコでは薬物注射による HIV 感染が広がっている。男性間の安全でない性行為も HIV 感染の顕著な要因だが、スティグマのためにほとんど表に出ることがない。西インド諸島（カリブ海）では MSM に関する調査はほとんど行われていないが、入手できるデータから HIV 感染者報告数の 12%は男性間の安全でない性行為によるものであることが示唆される（Caribbean Commission on Health and Development, 2005; Inciardi, Syvertsen & Surratt, 2005）。

ハイチは現在も西インド諸島（カリブ海）で最も HIV の流行が深刻な国である。周産期クリニックに通う妊婦の HIV 感染率は 1996 年の 5.9%から 2004 年には 3.1%と低下している（Gaillard et al., 2006）。しかし、2006 年の妊婦を対象としたサーベイランスによれば、HIV 陽性率は横ばい状態である（Ministere de la Sante Publique et de la Population, 2007）。全国住民調査から 2005 年の HIV 感染率は 2.2%と推定される（Cayemittes et al., 2006）。HIV 感染率の低下傾向に大きく影響しているのは、首都での新規感染率の低下である。ポルトフランスやその他の都市では、15–44 歳の女性の HIV 感染率が 2000 年から 2005 年にかけて 5.5%から 3%と低下した。疫学的なモデリングから、この低下の原因は死亡者数が増えただけではなく、感染を予防する行動変容によるものであることも示唆されている（Gaillard et al., 2006）。行動調査によれば、1994 年から 2000 年にかけて性行為の相手の平均数は 20%減少し、不特定の相手との性行為でのコンドームの使用率も上

昇している（Cayemittes et al., 2006; Hallet et al., 2006; Gaillard et al., 2006）。

ドミニカ共和国の HIV の流行は沈静化しているようである（図 13）（Secretaria de Estado de Salud Publica y Asistencia Social de Republica Dominicana, 2007）。西インド諸島（カリブ海）の多くの国々と同様、性産業が流行の大きな要因である。ある調査によれば、首都サントドミンゴで地域連帯予防プロジェクトに参加したセックスワーカーのコンドームの使用率は 12 カ月間で 74% から 94% に上昇した（Kerrigan et al., 2006）。

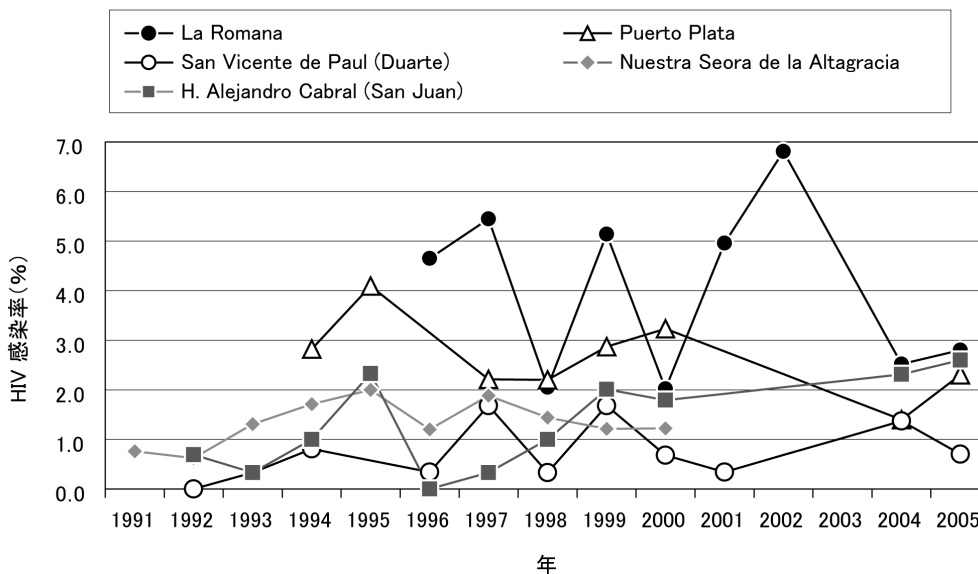
ジャマイカ、バハマ、トリニダード・トバゴの HIV の流行も近年は安定している（Ministry of Health Jamaica, 2007; Ministry of Health The Bahamas, 2006; PAHO & WHO, 2006; Ministry of Health Trinidad and Tobago, 2007）。

バルバドスでは、毎年新たに HIV に感染する人々の数は 1990 年代後半から比較的安定している（Ministry of Health Barbados, 2007）。

ガイアナでは、HIV 感染の原因は主に無防備な性行為である。最新の周産期クリニックでの調査によれば、妊婦の HIV 感染率は 1.6%。これは 2004 年に行った同様の調査で出た 2.3% と比べると低下している。しかし、方法の違いを考えると、二つの結果を比較するには注意が必要である（Ministry of Health Gyuana, 2007）。

図 13

妊婦の HIV 感染率（ドミニカ共和国, 1991-2005年）



Source: Ministry of Health surveillance reports, 1991-2006.

西インド諸島（カリブ海）の他の国々とは異なり、薬物注射が HIV 感染の主な要因であるのがバミューダ諸島とプエルトリコである。プエルトリコの IDU の HIV 感染率は現在でも非常に高く、10 万人に 26 人という HIV 感染率は北米の 2 倍であり、HIV 感染者の 3 分の 2 以上が男性である（AIDS Action, 2007）。